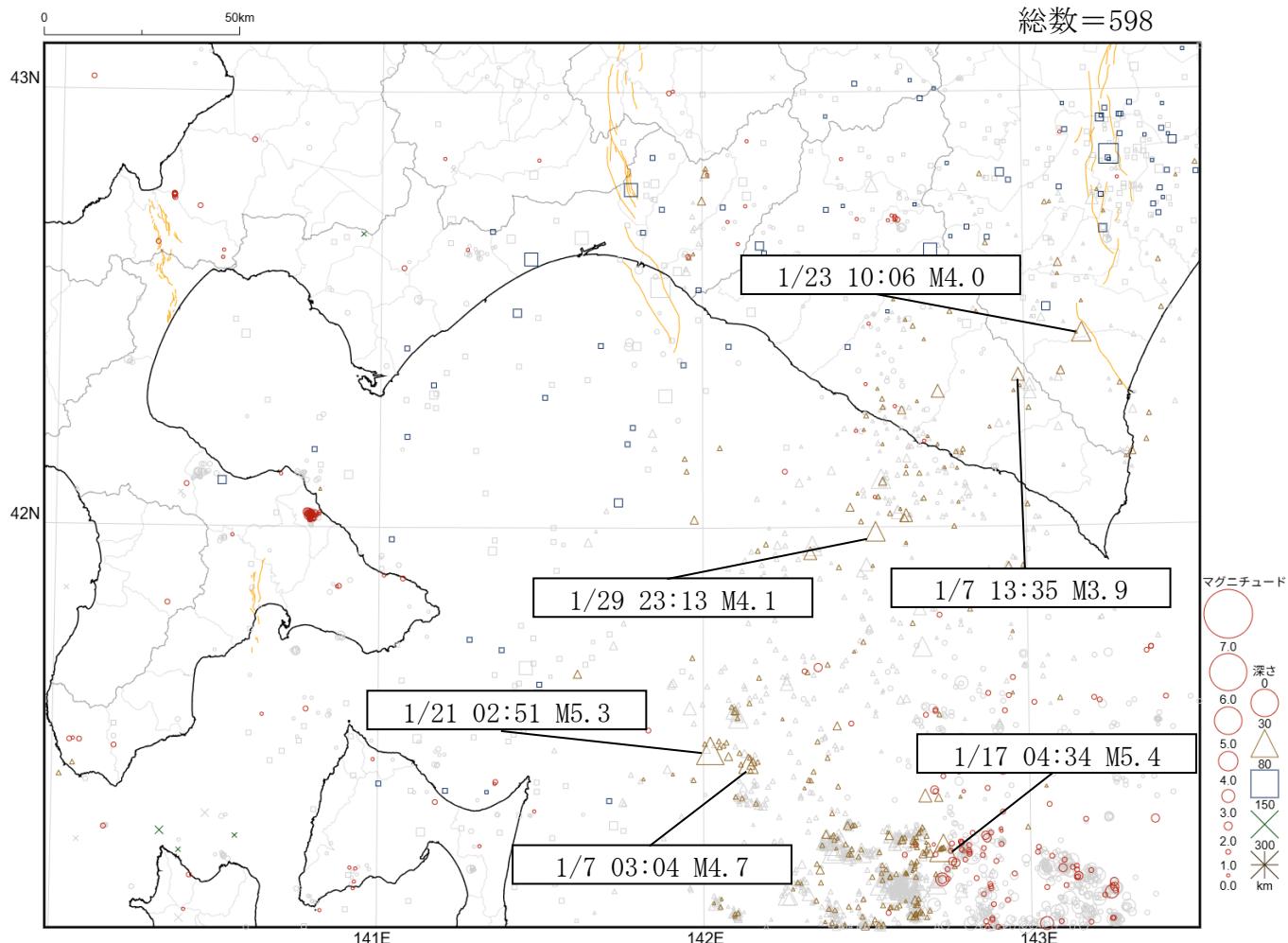


# 胆振・日高地方の地震活動図

2026年1月

室蘭地方気象台

## 震央分布図



- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

## 地震概況（2026年1月）

この期間、胆振・日高地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は11回（12月は27回）で主な地震は以下の通りです（「胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

21日02時51分、青森県東方沖の地震（M5.3、深さ58km）により、様似町で震度3を観測したほか、胆振・日高地方の15市町で震度2～1を観測しました。

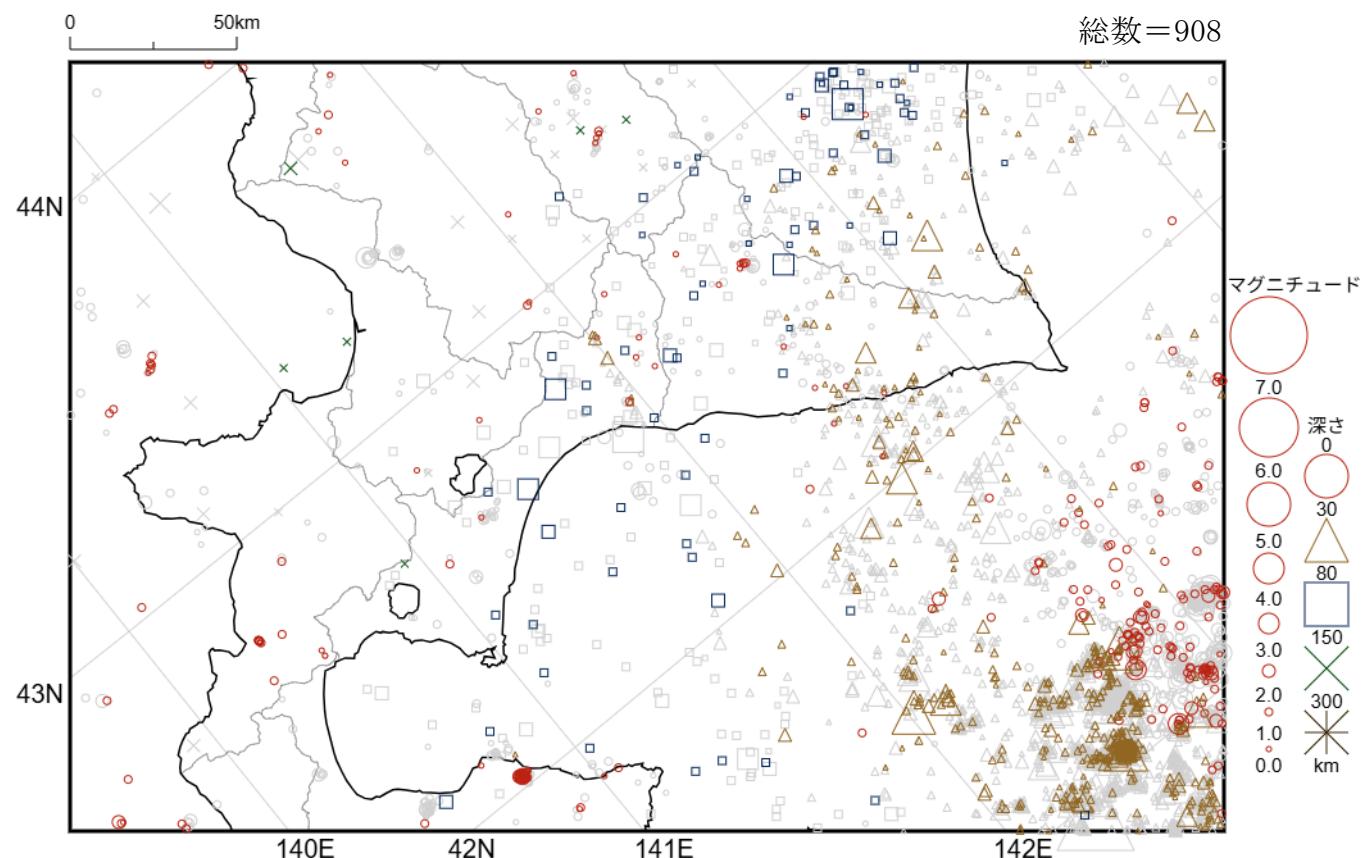
22日23時31分、青森県東方沖の地震（M5.5、深さ46km、震央分布図の範囲外）により、厚真町、むかわ町、浦河町、様似町で震度2を観測したほか、胆振・日高地方の13市町で震度1を観測しました。

この活動図は、室蘭地方気象台のホームページに掲載しています。

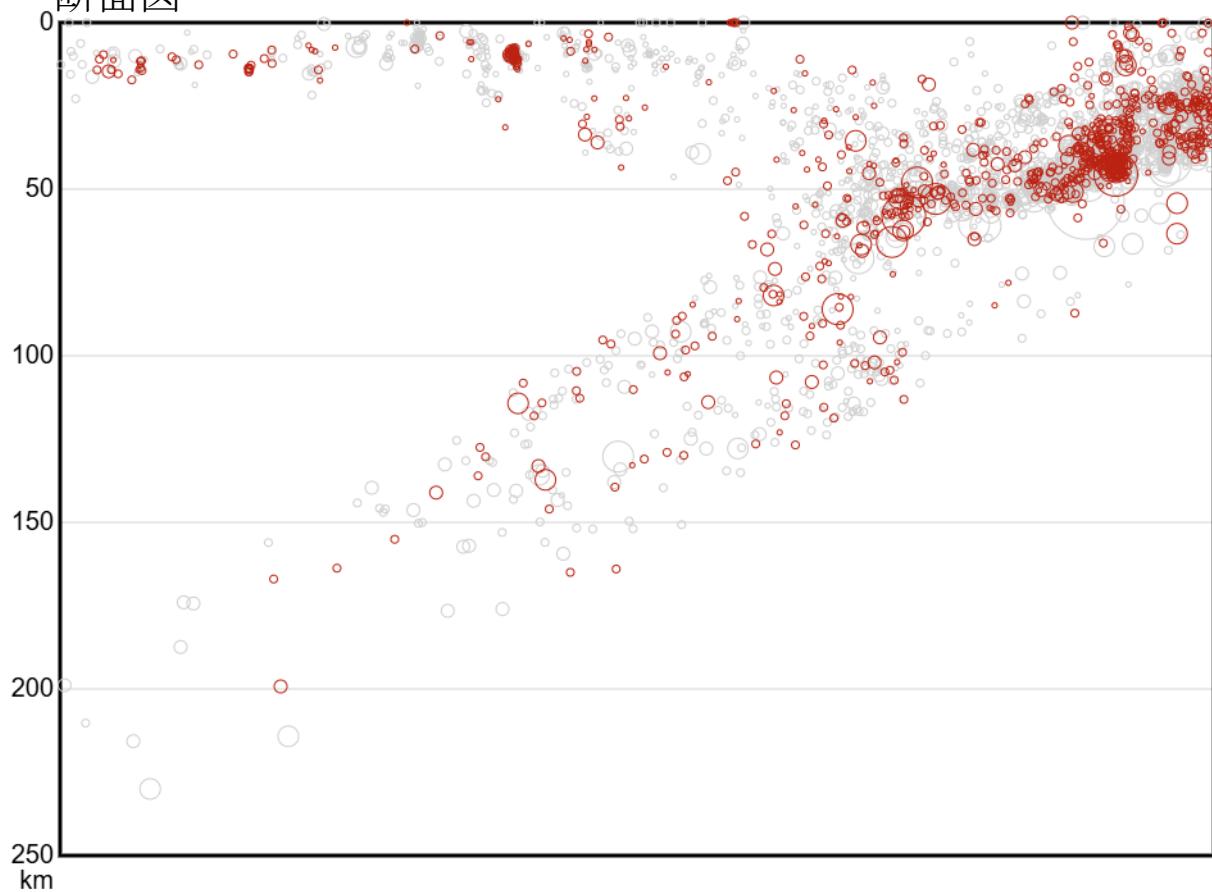
<https://www.data.jma.go.jp/muroran/>  
この資料に関する問い合わせ先 室蘭地方気象台 TEL 0143-22-4249

2026年1月

## 震央分布図



## 断面図

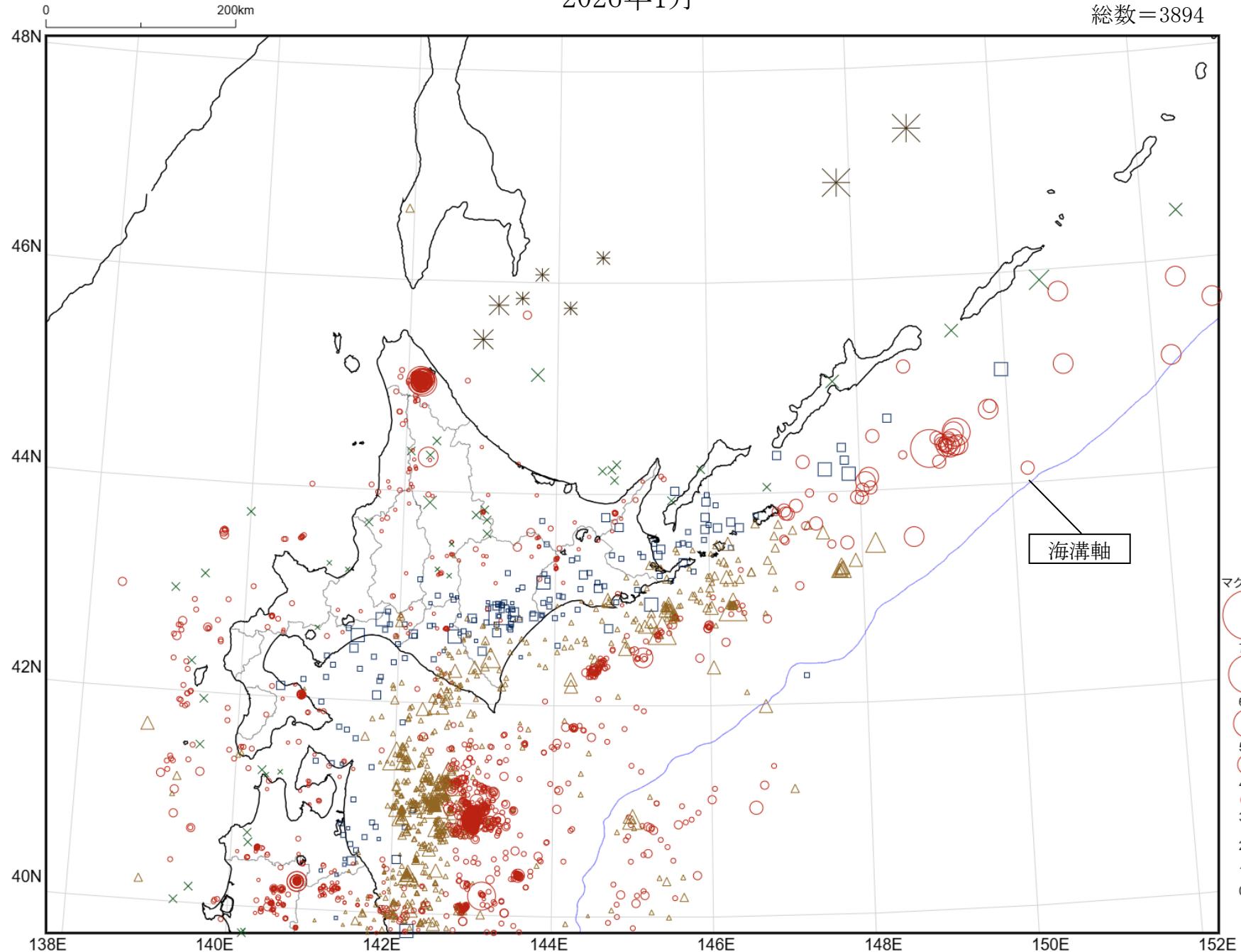


# 北海道の地震活動図

震央分布図

2026年1月

総数=3894



# 胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震の表 (2026年1月)

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N) 震度	東経 (E) 震度	深さ (km) 震度	規模 (M) 震度
1	2026年 1月 1日 日高地方	01時30分 震度 1	青森県東方沖 浦河町潮見(05)	40° 54.5' N 震度	143° 03.3' E 震度	23 km 震度	M4.8 震度
2	2026年 1月 7日 日高地方	03時04分 震度 2 震度 1 胆振地方	青森県東方沖 様似町栄町*(16) 日高地方日高町門別*(06) 新ひだか町静内山手町(07) 新ひだか町三石旭町*(08) 浦河町野深(05) 浦河町潮見(10) 浦河町築地*(08) えりも町えりも岬*(11) 胆振伊達市梅本(06) 胆振伊達市大滝区本町*(06) 壮瞥町滻之町*(08) 室蘭市寿町*(08) 苦小牧市末広町(08) 登別市鉢山(08) 登別市桜木町*(06) 白老町竹浦(10) 厚真町鹿沼(10) 安平町早来北進*(10) 安平町追分柏が丘*(10) むかわ町松風*(13) むかわ町穂別*(07)	41° 27.5' N 震度	142° 08.2' E 震度	53 km 震度	M4.7 震度
3	2026年 1月 7日 日高地方	13時35分 震度 1	日高地方東部 浦河町野深(07)	42° 20.9' N 震度	142° 58.8' E 震度	53 km 震度	M3.9 震度
4	2026年 1月11日 胆振地方	13時15分 震度 1 日高地方	岩手県沿岸北部 白老町竹浦(05) 様似町栄町*(06)	39° 33.3' N 震度	141° 53.7' E 震度	63 km 震度	M5.1 震度
5	2026年 1月13日 胆振地方	16時34分 震度 1 日高地方	択捉島南東沖 安平町早来北進*(06) 新冠町北星町*(14) 新ひだか町静内山手町(11) 浦河町野深(08) 浦河町潮見(12) 浦河町築地*(10) 様似町栄町*(07)	44° 22.3' N 震度	148° 56.2' E 震度	30 km 震度	M6.3 震度
6	2026年 1月15日 日高地方	07時13分 震度 2 震度 1 胆振地方	釧路沖 新冠町北星町*(16) 平取町振内*(06) 新ひだか町静内山手町(11) 新ひだか町静内御園(06) 新ひだか町静内御幸町*(11) 浦河町野深(09) 浦河町潮見(11) 浦河町築地*(08) 様似町栄町*(12) 白老町竹浦(12) 厚真町鹿沼(09) 安平町早来北進*(12) むかわ町松風*(13) むかわ町穂別*(09)	42° 42.9' N 震度	145° 23.0' E 震度	31 km 震度	M5.6 震度
7	2026年 1月17日 日高地方	04時34分 震度 2 震度 1 胆振地方	青森県東方沖 様似町栄町*(21) 日高地方日高町門別*(08) 平取町振内*(05) 新冠町北星町*(13) 新ひだか町静内山手町(10) 新ひだか町静内御幸町*(05) 新ひだか町三石旭町*(10) 浦河町野深(05) 浦河町潮見(13) 浦河町築地*(09) えりも町えりも岬*(12) 胆振伊達市大滝区本町*(07) 壮瞥町滻之町*(05) 室蘭市寿町*(09) 苦小牧市末広町(05) 登別市桜木町*(05) 白老町竹浦(10) 厚真町鹿沼(12) 安平町早来北進*(08) 安平町追分柏が丘*(09) むかわ町松風*(13) むかわ町穂別*(05)	41° 15.7' N 震度	142° 43.9' E 震度	35 km 震度	M5.4 震度
8	2026年 1月21日 日高地方	02時51分 震度 3 震度 2 震度 1 胆振地方	青森県東方沖 様似町栄町*(26) 新冠町北星町*(17) 新ひだか町静内山手町(16) 新ひだか町静内御幸町*(15) 新ひだか町三石旭町*(16) 浦河町野深(18) 浦河町潮見(21) 浦河町築地*(20) えりも町えりも岬*(23) 日高地方日高町門別*(12) 平取町振内*(09) 新ひだか町静内御園(08) えりも町本町(08) えりも町目黒*(09) むかわ町松風*(15) むかわ町穂別*(17) 胆振伊達市梅本(09) 胆振伊達市大滝区本町*(10) 壮瞥町滻之町*(09) 室蘭市寿町*(11) 苦小牧市末広町(12) 苦小牧市旭町*(13) 登別市鉢山(10) 登別市桜木町*(09) 白老町竹浦(13) 白老町綠丘*(06) 厚真町鹿沼(14) 厚真町京町*(10) 安平町早来北進*(13) 安平町追分柏が丘*(12)	41° 29.3' N 震度	142° 01.2' E 震度	58 km 震度	M5.3 震度
9	2026年 1月22日 胆振地方	23時31分 震度 2 震度 1 日高地方	青森県東方沖 厚真町鹿沼(17) むかわ町松風*(19) 胆振伊達市梅本(09) 胆振伊達市大滝区本町*(10) 豊浦町大岸*(05) 壮瞥町滻之町*(10) 室蘭市寿町*(14) 苦小牧市末広町(12) 苦小牧市旭町*(12) 登別市鉢山(08) 登別市桜木町*(10) 白老町竹浦(12) 白老町綠丘*(06) 安平町早来北進*(12) 安平町追分柏が丘*(09) むかわ町穂別*(09) 浦河町潮見(15) 様似町栄町*(19) 日高地方日高町門別*(09) 平取町振内*(06) 新冠町北星町*(13) 新ひだか町静内山手町(10) 新ひだか町静内御幸町*(10) 新ひだか町三石旭町*(11) 浦河町野深(11) 浦河町築地*(13) えりも町えりも岬*(10)	41° 02.6' N 震度	142° 30.9' E 震度	46 km 震度	M5.5 震度
10	2026年 1月23日 日高地方	10時06分 震度 1	十勝地方南部 浦河町潮見(06) 浦河町築地*(05)	42° 26.6' N 震度	143° 10.8' E 震度	48 km 震度	M4.0 震度

11	2026年 1月29日 23時13分 浦河沖 日高地方 震度 2 震度 1 胆振地方 震度 1	41° 59.4' N 142° 32.0' E 66 km M4.1 新ひだか町三石旭町*(16) 浦河町野深(18) 浦河町潮見(20) 浦河町築地*(16) えりも町えりも岬*(15) 新ひだか町静内山手町(11) 新ひだか町静内御園(07) 新ひだか町静内御幸町*(10) 様似町栄町*(14) えりも町目黒*(07) 安平町追分柏が丘*(08)
----	--	--

\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

( ) 内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

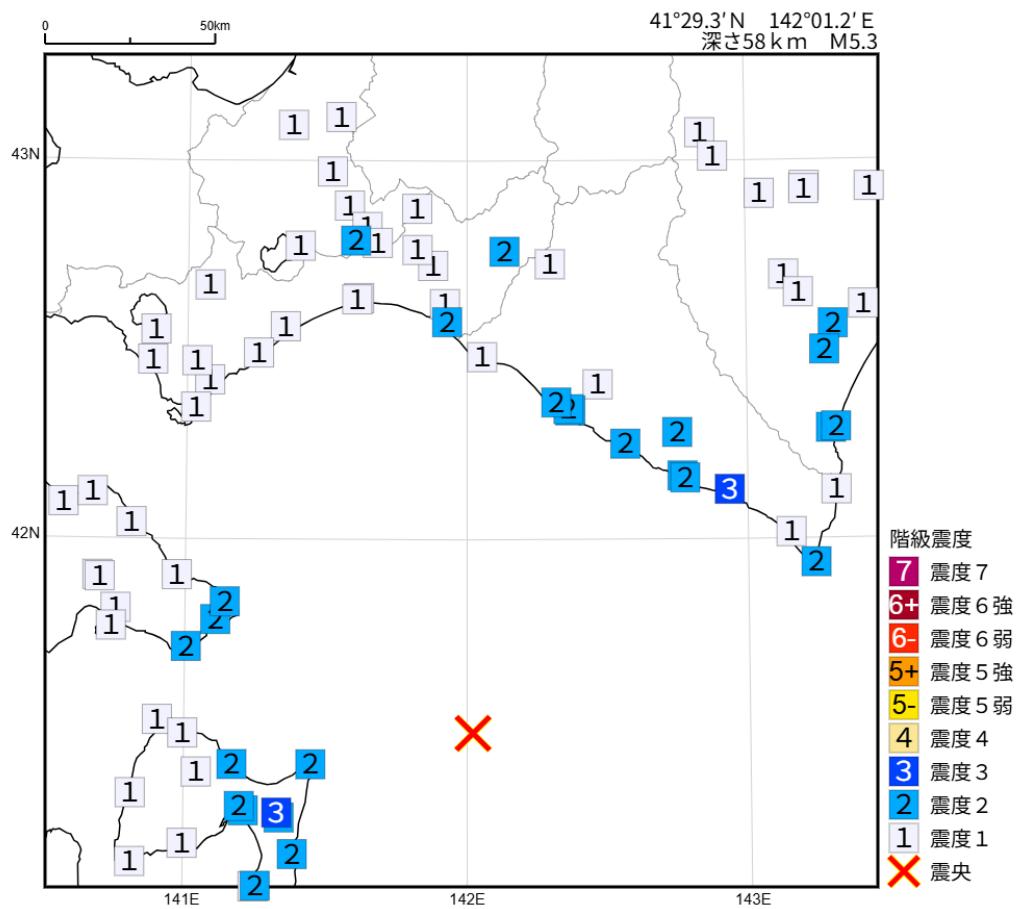
## 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

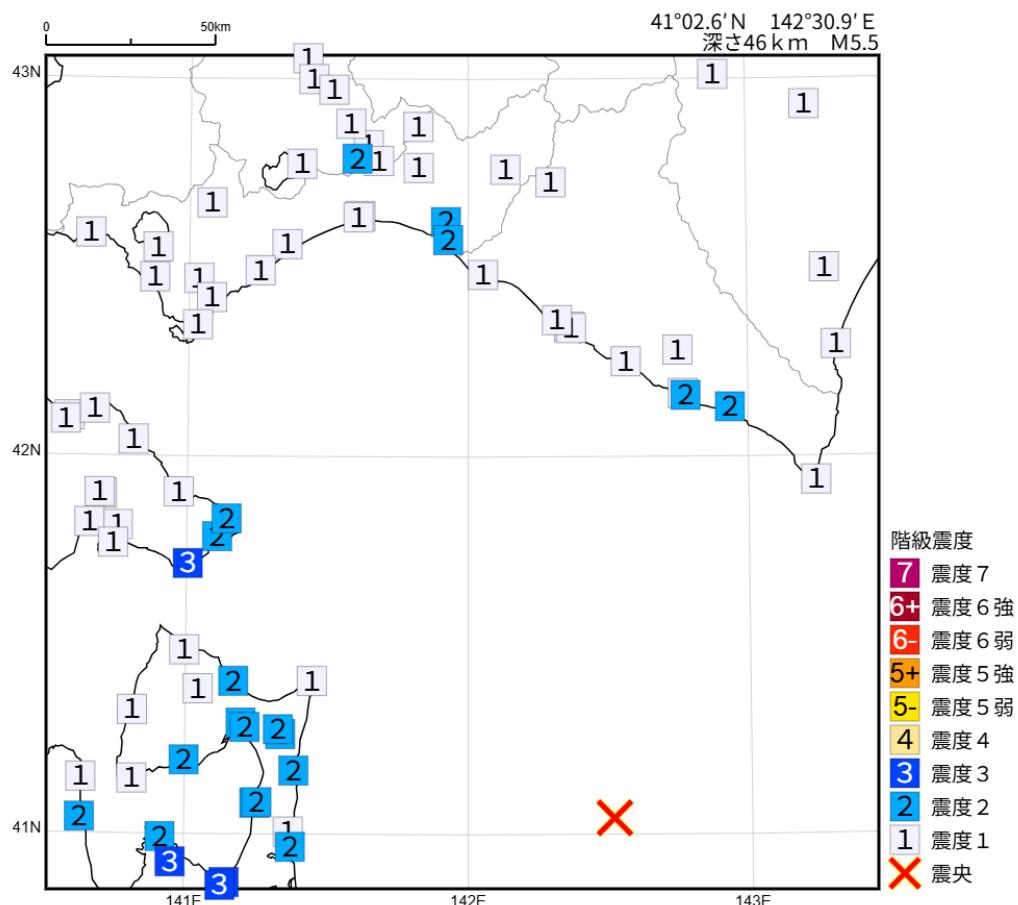
## 本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

2026年1月21日 02時51分 青森県東方沖の地震の震度分布図



2026年1月22日 23時31分 青森県東方沖の地震の震度分布図



## 【防災メモ】

# ～異常震域～

一般に、地震の揺れは震源に近い場所ほど強く、遠い場所ほど弱くなります。しかし、震源が非常に深い地震（深発地震）の場合、震源の真上ではほとんど揺れないのに、震源から離れた場所で揺れを観測することがあります。この現象を「異常震域」と呼びます。

日本周辺では、陸のプレートの下に海洋プレートが沈み込んでいます。この海洋プレートと陸のプレートの間には地震波が減衰しやすい領域があるため、沈み込んだ海洋プレートのかなり深い場所で地震が発生すると、地震波が減衰しにくい海洋プレートを通って地震波が伝わる太平洋側で震度が大きくなることがあります（図1、図2）。

特徴的な震度分布のため「異常震域」と呼ばれます。発生した地震自体が異常というわけではありません。なお、異常震域を生じるような深発地震でも、地震の規模が大きくなれば強い揺れによる被害を生じることがあります。

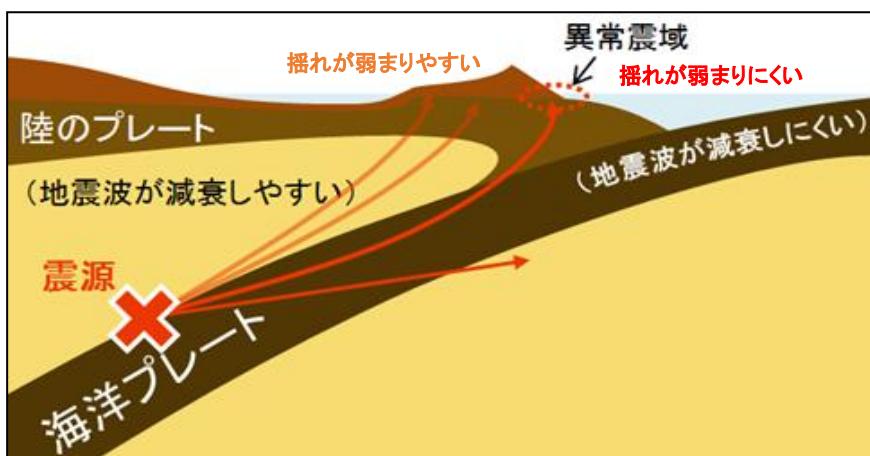
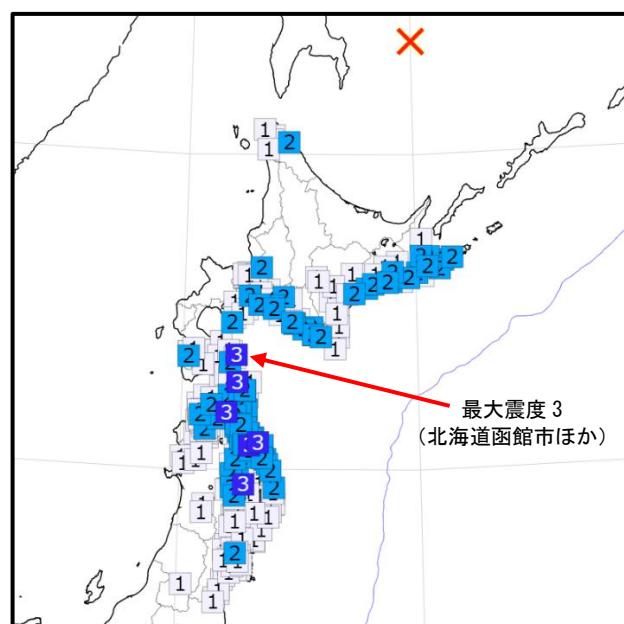


図1 異常震域模式図（断面図）



日本海北部の地震の震度分布図

（2023年6月28日 M 6.3 深さ518km）



オホーツク海南部の地震の震度分布図

（2024年8月10日 M 6.7 深さ447km）

図2 異常震域の事例（×印は震央、数字は震度を示す）